

漢検2級テスト 解

2018/8/29

次の漢字のよみを記せ。

- 1 沈痛な[面持]ちで会見する。 おもも
- 2 組織内の対立が[露呈]した。 ろてい
- 3 [暁天]の星さながらであった。 ぎょうてん
- 4 時代遅れの制度が[撤廃]された。 てっぱい
- 5 宴席で[詩吟]を披露した。 しぎん
- 6 現地の人に案内を[請]うた。 こ

次のカタカナを漢字に直せ。

- 1 [ホウヨウ]して再会を喜びあう。 抱擁
- 2 口を[ハサ]む余地はない。 挟
- 3 茶の葉を[ツ]んでかごに入れる。 摘
- 4 過ぎたるはなお[オヨ]ばざるがごとし。 及
- 5 首筋に[ウブゲ]が生えている。 産毛
- 6 [アヤマチ]を深く悔いる。 過ち

次の漢字の対義語を記せ。

- 1 個別 一斉
- 2 妥結 決裂
- 3 下落 騰貴

次の漢字の類義語を記せ

- 1 卓抜 秀逸
- 2 比肩 匹敵
- 3 来歴 由緒

以下の文の間違っている字を記し、正しい漢字に直せ。

- 縄文時代の貝塚から出土した人骨には、骨折した箇所を木片などで固定して治したような跡が見られた。
- 1 したような跡が見られた。
 - 高齢者が危うく振り込め詐欺の被害に遭うところを未然に防いだ銀行員に、警察から感謝情が贈提された。

正 誤
了 療
提 呈

以下の熟語下記のア～オのどの構成にあたるか。

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの
- 1 妄想 ウ
 - 2 罷業 エ
 - 3 悠久 ア

次の漢字の部首を記せ。

- 1 煩 火(ひへん)
- 2 青 青(あお)
- 3 寶 貝(かい・かいへん)

四時熟語の()に入る漢字を記せ。

また、下から意味を選べ。

- 1 百八() 煩惱 ア
- 2 初志() 貫徹 イ
- 3 ()来復 一陽 ウ

ア 百八煩惱(ひやくはちぼんのう) 人間がもっている多くの迷いのこと。
イ 初志貫徹(しょしかんてつ) 初めに思い立った志を、最後まで貫き通すこと。
ウ 一陽来復(いちようらいふく) 物事が回復することのたとえ。